

2025年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

解答上の注意

1. 社会科教育専攻の入学試験問題は、問題Ⅰ～問題Ⅳまであります。

出願時に届け出た研究指導・指導教員により、下記の表の解答すべき問題に答えなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき問題
社会科教育研究指導	池 俊介	問題Ⅰ－A・問題Ⅱ
社会科教育研究指導	近藤 孝弘	問題Ⅰ－B・問題Ⅱ
歴史学研究指導	高木 徳郎	問題Ⅲ－A・問題Ⅳ
歴史学研究指導	大橋 幸泰	問題Ⅲ－B・問題Ⅳ
歴史学研究指導	三村 昌司	問題Ⅲ－C・問題Ⅳ
歴史学研究指導	岡本 隆司	問題Ⅲ－D・問題Ⅳ
歴史学研究指導	石濱 裕美子	問題Ⅲ－E・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小松 香織	問題Ⅲ－F・問題Ⅳ
歴史学研究指導	堀越 宏一	問題Ⅲ－G・問題Ⅳ
歴史学研究指導	小森 宏美	問題Ⅲ－H・問題Ⅳ
地理学研究指導	久保 純子	問題Ⅲ－I・問題Ⅳ
地理学研究指導	箸本 健二	問題Ⅲ－J・問題Ⅳ
地理学研究指導	山内 昌和	問題Ⅲ－K・問題Ⅳ
政治学研究指導	遠藤 美奈	問題Ⅲ－L・問題Ⅳ
経済学研究指導	熊谷 善彰	問題Ⅲ－M・問題Ⅳ
社会学研究指導	若林 幹夫	問題Ⅲ－N・問題Ⅳ
社会学研究指導	野上 元	問題Ⅲ－O・問題Ⅳ

2. 解答すべき問題以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。
3. 解答用紙の所定欄に、「問題番号」（例：「Ⅰ－A」・「Ⅲ－A」など）を必ず記入すること。
また、全ての解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
4. 解答用紙は、「問題番号」別に使用すること（一つの問題で一枚使用）。
5. 解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
6. 問題用紙は「7枚」（本ページ含む）、解答用紙は「2枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2025年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

問題 I 社会科教育研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、教員別に指定された A または B を選んで答えなさい。

I - A (社会科教育研究指導 1)

日本の地理教育におけるフィールドワークの意義と課題について述べなさい。

I - B (社会科教育研究指導 2)

いわゆる西側先進国に代わってグローバルサウスが存在感を高めている世界の状況は、各国の歴史教育ないし政治教育にどのような影響を与えているか。日本を含む特定の国におけるいずれかの教育に注目し、関連する知(すなわち歴史教育学ないし政治教育学)のあり方も視野に入れて論じなさい。

問題 II 社会科教育研究指導の志願者は、次の a～g から 1 問を選んで答えなさい。

II - a (日本史) 日本史において、「地域」の視点がもつ意味を論じなさい。

II - b (東洋史) 「遷都」の果たした役割について、具体的な王朝もしくは国家の事例から論じなさい。

II - c (西洋史) 第二次世界大戦の開戦原因について、複数の観点から論じなさい。

II - d (地理学) フードツーリズム (Food Tourism) を説明し、それが第一次産業地域に与える影響について具体例を挙げつつ論じなさい。

II - e (政治学) 近年の日本における国レベルでの政府と官僚の関係性の変化について、具体的な事象に触れながら論じなさい。

II - f (経済学) 経済理論における貨幣の位置付けについて論じなさい。

II - g (社会学) 社会調査におけるリサーチクエスション設定の重要性およびその陥穽について、特定の調査法を挙げながら解説しなさい。

2025年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

問題 III 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学の各研究指導の志願者は、表紙を参照のうえ、A～Oの中から教員別に指定された問題を選んで答えなさい。

III—A（歴史学研究指導 日本史 1）

以下の史料を読み、下記の問いに答えなさい。

廿三日、早旦参結政、依為要日也、入陽明門間、上官等相達云、只今延暦寺大衆、依有可訴申事可参闕由有風聞、仍雖刻限不滿、忿参内者、則引渡参陣、頭弁又来加於床子座、弁侍直申、頭弁與奪、暫候御前程、弁兩殿下以下公卿着直衣濟々参集、於殿上有僉議、大衆一定可参洛者、先差遣檢非違使并武士等、於河原邊可禦者、此晚上皇并女院、從鳥羽殿俄依此事御幸閑院、藏人弁時範為御使数度往反、又被下宣旨於神祇官云、諸社神民等猥成訴訟、奉昇神輿可迎京都之由依有風聞、可制止状度々被仰下之、而山僧乱発可奉昇神輿者、若然者禦留之条全不可憚神輿、此旨且以祈申、且以可下知諸社者、又令掌侍并藏人仲正、奉弊帛於内侍所、同被祈申件旨、又諸陣相固、武士濟々終日雖相待大衆不下也、

大衆乱発元者、天台僧等下向美乃国、沙汰庄園、事体以非道為宗、爱国司源義綱朝臣、依非理事經奏聞、仍被問本寺、而本寺不知案内由申上之处、可追討由被下宣旨先了、義綱朝臣欲追捕处、惡僧等合戰、或被射殺、或以擄取、此中中室久住者圓応驗者云々、被殺害也、所擄進數輩僧等、依逢非常赦已被原免了、今大衆等依被殺久住者圓応、可被流罪義綱朝臣由、一日進奏状、雖然依宣旨追捕之間、為流矢被射殺、義綱朝臣更無過怠、何況事已赦前也、不可有左右、仍返彼奏状、不可有裁許之由、一日被仰下也、而大衆等偏称可有罪過、今大乱発也、

*久住 ここでは比叡山に長く留まっている僧を指す。

- (1) 全文をすべて平仮名で読み下しなさい。
- (2) 全文を現代日本語に翻訳しなさい。
- (3) この史料は、その後大きな社会問題となる事象の初発例として著名な事例である。それはいつの時代のどのような社会問題で、これによって社会はどのように変容していったとされるか。この史料で述べられていることも絡めて論じなさい。

2025年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
〔専門科目〕 【社会科教育専攻】

III－B（歴史学研究指導 日本史2）

次の史料は、慶長18年12月付で、将軍徳川秀忠により発せられた宣言文である。このなかの、特に「神国」・「仏国」・「天譴」の語に注目して、近世日本の宗教統制や政治論について論じなさい。

日本は神国、仏国にして神を尊び仏を敬ひ、仁義の道を専らにし、善惡の法を匡す。……五逆十惡の罪人は、これ仏神、三宝、人天大衆の棄捐するところなり。……かの伴天連の徒党、みな件の政令に反し、神道を嫌疑し、正法を誹謗し、義を残さず、善を損なふ。刑人あるを見れば、すなはち欣び、すなはち奔り、自ら拝し自ら礼す。これを以て宗の本懷となす。邪法にあらずして何ぞや。実に神敵仏敵なり。急ぎ禁ぜずんば後世必ず国家の患ひあらん。ことに号令を司る。これを制せずんば、かへつて天譴を蒙らん。

III－C（歴史学研究指導 日本史3）

大日本帝国憲法の歴史的特質について論じなさい。

III－D（歴史学研究指導 東洋史1）

中国の内閣制度について、その沿革と特徴を具体的な事例をあげて論じなさい。

III－E（歴史学研究指導 東洋史2）

19世紀に欧米における仏教ブームはインドにおける仏跡の発掘を促し、アジアの仏教徒による仏跡巡礼が復活した。この仏跡巡礼の復活がアジアのナショナリズムに与えた影響について論じなさい。

III－F（歴史学研究指導 東洋史3）

歴史的シリアとオスマン帝国との関係について近代に重点を置いて論じなさい。

III－G（歴史学研究指導 西洋史1）

教会改革（グレゴリウス改革）について、歴史上の具体例に即して、その歴史的意義を説明しなさい。

2025年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] 【社会科教育専攻】

Ⅲ－H（歴史学研究指導 西洋史2）

次の（1）～（5）から3つを選び、それぞれの歴史事項について説明しなさい。各解答の前に選んだ事項の番号を書くこと。

- （1）1905 年革命
- （2）南スラブ主義（ユーゴスラヴィズム）
- （3）強制移送・被追放
- （4）ドイツ統一（1990 年）
- （5）ソ連解体（1991 年）

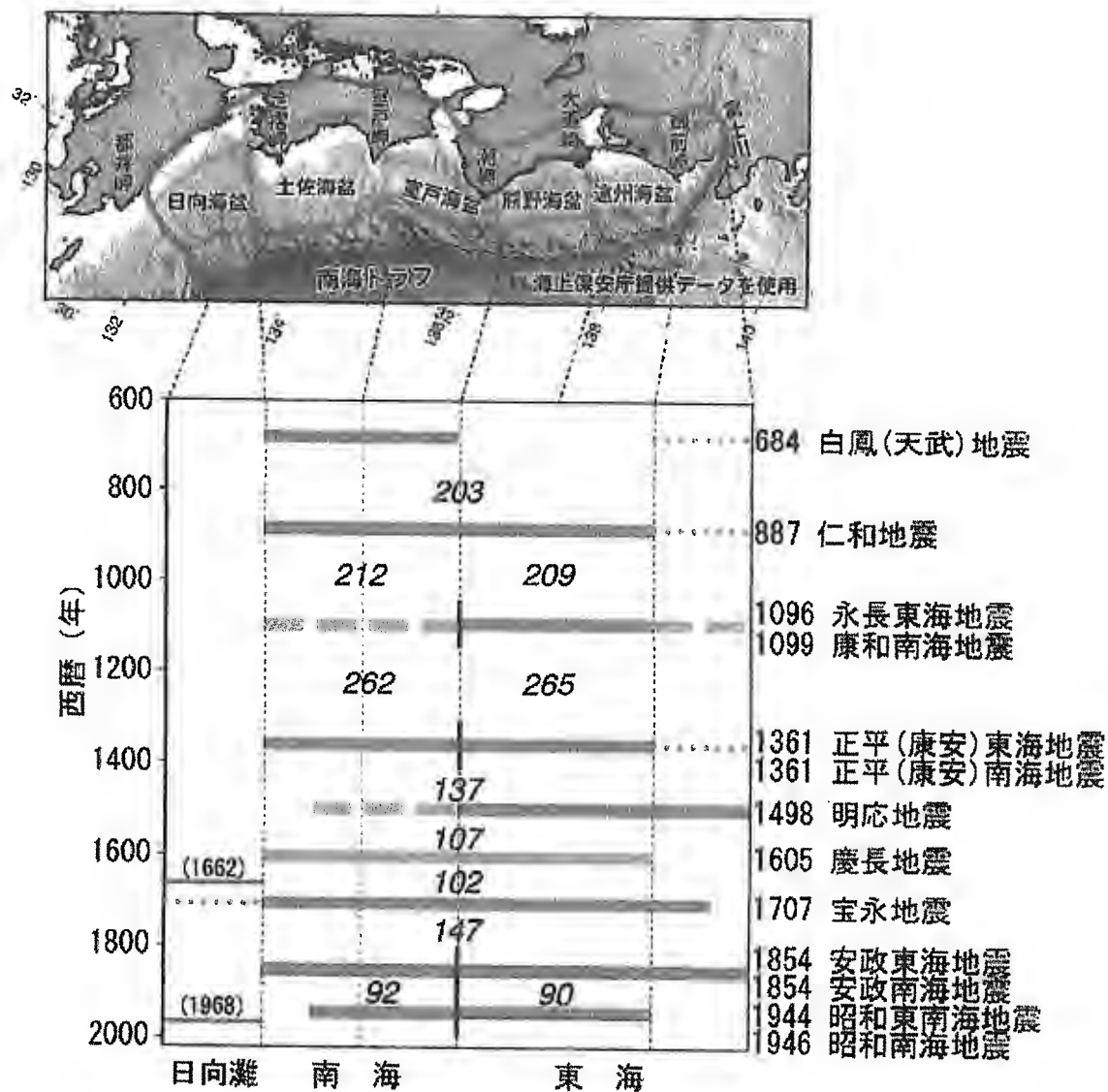
2025年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

【専門科目】 【社会科教育専攻】

III-I (地理学研究指導 自然地理)

1. 以下の図について詳しく説明しなさい。



(出典：地震調査研究推進本部、凡例は省略)

※ページ下部に出典を追記しております。

2. 以下の事項について、それぞれ説明しなさい。

- 1) 天井川
- 2) 火砕流
- 3) 羊背岩
- 4) 小氷期

2025年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
【専門科目】 【社会科教育専攻】

Ⅲ-J (地理学研究指導 人文地理1)

市街化調整区域における開発行為について、具体的事例をふまえて、地方の基礎自治体の持続可能性という視点に立ってその是非を論じなさい。

Ⅲ-K (地理学研究指導 人文地理2)

日本の非大都市圏を対象とした研究にとって、ルーラル・ジェントリフィケーションという概念がどのような意義や可能性を有しているのかについて論じなさい。

Ⅲ-L (政治学研究指導)

表現の自由と民主主義の交差点で生じる現代的な問題について、憲法学の視点から論じなさい。

Ⅲ-M (経済学研究指導)

今後の日本経済において間接金融が果たすべき役割について論じなさい。

Ⅲ-N (社会学研究指導1)

以下の2問から1つを選択して解答しなさい。

(1) 任意のメディアをとりあげ、そのメディアが現代の都市とそこでの経験のあり方をどのように規定し、どのような作用や効果を及ぼしているのかを社会的に考察しなさい。

(2) 個人の実存の単一性・唯一性を〈社会的なもの〉として対象化することができるのか、そのとき個人の実存の単一性や唯一性と〈社会〉とはどのような関係にあると考えることができるのかを、既存の社会学理論や具体的な事例に適宜言及しつつ考察しなさい。

Ⅲ-O (社会学研究指導2)

戦争・軍事を対象とするにあたって比較社会学や歴史社会学の視点が重要である理由について解説しなさい。

問題Ⅳ 歴史学、地理学、政治学、経済学、社会学の各研究指導の志願者は、次のa、bのうち1問を選んで答えなさい。

Ⅳ-a 近年の子どもを取りまく環境の変化と社会科教育の課題について述べなさい。

Ⅳ-b 人工知能の発達に代表されるデジタル化の進展は、教育の目標・内容・方法にどのような影響を与えると考えられるか？ 歴史教育または公民教育を例に述べなさい。



